



ひらかみ 久美子 さん  
(湯口 61歳)

## 手づくりの舞台で 花巻の歴史を感じてほしい

◆2月22日・23日に花巻市民劇場が上演されますね。花巻市民劇場は市民の皆さんによる手づくりの舞台で、地域の出来事や市の歴史が題材です。今回は、昭和と平成を生きた3人の女性を描いた物語で、脚本と演出を担当しています。この作品で脚本は6作品目、演出は4作品目になります。

◆市民劇場に携わるようになったきっかけは？  
知人から声を掛けられたのがきっかけです。初めは役者として、平成元年の舞台に参加しました。高校時代に演劇部に所属していましたが、誘われたのが30代の時なので、だいぶブランクがありました。

◆脚本と演出を担当するようになったのは？  
市民劇場に参加しているメンバーから声が掛かりました。書くことが好きで、脚本に挑戦したいという気持ち以前からありました。

◆こだわりはありますか？  
実際の出来事を掘り下げた脚本を書いています。そのため、取材にも力を入れています。演出では、せりふの意味を大切にしながら演じるように伝えていきます。

◆今後の目標は？  
もっと多くの若い方に関わってほしいです。そして、活気のある市民劇場にしたいと思っています。

## 市民生活コーナー

「フロ向けファンド」への投資に注意を

◆どんなトラブルがあるの？  
○ファンドとは、複数の投資家から集めた資金を一つにまとめ、その資金を専門家が運用し、得た利益を投資家に還元する仕組みの金融商品です。

○近年、ファンドへの投資に関するトラブルが増加しています。その中には、プロの投資家向けのファンドに、高齢者を中心とする投資経験の浅い人に投資させ、その投資した人が損失を受けたり、

◆注意することは？  
○取引内容が理解できなければ契約しないようにしましょう。

○「代わりに買って」「名義を貸して」「あなたの名前で買った」などと持ちかけてくる勧誘の電話はすぐ切りましょう。

○金融庁に届け出ているからと言われても、すぐに信用しないようにしましょう。

◆困ったときは？  
○市民生活総合相談センター(☎24・2111・内線259)へ

## 花巻の仕事

Made in HANAMAKI



### ノルデナウの泉2007

家庭用の水素水メーカーです。水素水とは、水素を豊富に含んだ水のことです。体をさびつかせる活性酸素を体外へ排出する効果があるといわれています。この水素水メーカーにより、出来たての水素水を毎日手軽に飲むことができます。

会社名 株式会社 ドリームマックス岩手  
所在地 花巻市二枚橋5-6-3(☎0198-29-5399)  
会社概要 平成25年創業。水素水メーカーの高級版・普及版・携帯用を販売するとともに花巻工場では「ノルデナウの泉2007」を製造。強力な抗酸化作用があり、健康や美容に効果が期待される水素水を提供する

## 世界と花巻

vol.11



花巻市国際都市推進員  
ハンミヤ 銀貞 さん

### 今日は何の日？ in 韓国

2月といえば、バレンタインデー。日本ではすっかりおなじみの日ですが、韓国の新世代の若者たちも、このような記念日やイベントが大好きです。そんな若者たちに合わせてつくられた韓国の「イベントデー」をいくつか紹介します。

まず、3月3日。この日は、韓国では「三枚肉(サムギョブサル)の日」と言われています。三枚肉とはバラ肉のことですが、「三」の漢字が三枚肉をイメージさせるのでこの名前がつけました。この日は厚く切った三枚肉(写真下)をたくさん食べます。三枚肉が大好きな国民性が感じられる記念日です。

5月16日は「成人の日」。大人になる20歳の若者たちに、成人としての自覚

と誇り、社会人としての責任と義務を、改めて認識させるために制定された日です。日本の「成人の日」のように式典が開かれることはありませんが、韓国ならではの方法で、友達や家族、恋人と一緒に成人を祝います。一般的には、バラや香水などをプレゼントします。バラは美しく立派に成長したことを祝うものとして、香水は印象の良い人になるようにという意味でプレゼントするようです。

そして、10月24日。この日は、「リンゴの日」です。韓国語で、果物の「リンゴ」と過ちをわびるという意味の「謝過」はどちらも「サガア」と読みます。この記念日は校内暴力を予防し、お互いを理解し尊重し合える社会をつくりたいという願いを込めて、2001年から始まりました。友人や先生、職場の同僚、上司など周りの人への「嫌な気持ち」をなくし、許しと和解、愛を伝えます。言いにくいときは、代わりにリンゴをプレゼントします。

## いきいき仲間たち



花巻の早春の風物詩「八日市つるし雛まつり」。そこで展示される彩り華やかなつるし雛を作っているのが八日市つるし雛同好会の皆さんです。今から12年ほど前、会の代表の高橋多美さんが作ったつるし雛5点を公民館に展示したのが始まり。以来、つるし雛に魅了された仲間が集まり、現在は地域の女性9人で活動しています。

「人形一つ一つに子どもの幸せを願う意味が込められています。みんな自分の子どもや孫にプレゼントしたいという思いで始めました」と話す高橋さん。作り始めて10年余



つるし雛を作る会の皆さん。ことしのつるし雛まつりは、八日市いきいき交流館で3月3日まで開催。約1万点を展示しています

つるし雛に幸せの願い込める

## 八日市つるし雛同好会

代表 高橋多美さん

り。年を追うごとにつるし雛ファンが増え、「今は、作品を見に来てくれるお客さんの笑顔が見たくて作っています」と会の皆さんは話します。

ことしのつるし雛まつりの開催は3月3日まで。同会の作ったつるし雛が、多くの人に笑顔をもたらしています。